

保健だより

大阪市立住吉中学校

2014年6月12日

心臓1次検診（心電図検診）を行います！

心臓は生まれてからずっと、休みなくからだ中に血液を送り出しています。

心臓検診では、心臓が元気に動いているか、病気がないかを調べます。突然起こる異常や病気を防ぐために行うものですから、正しく検査を受けましょう。



1. 日 時 6月13日（金） 13時30分～
※欠席の場合は後日他の学校へ検査を受けに行きます。
2. 場 所 保健室
3. 検診機関 医療法人 橘甲会
4. 持 ち 物 夏用体操服
5. 注意事項 ◎検査の前は運動したりあばれたりしないでください。
◎検診中は静かにしましょう。

【心電図のしくみ】

心臓は動いているとき、弱い電流（約1～3ミリボルト）を流しながら、からだの中へ血液を流しています。心電図検査では、からだの何カ所かに電極を貼りつけて電流の流れを調べることで、心臓の動きに異常がないかをみます。

痛みはありませんので、からだの力をぬいて、リラックスして検査を受けましょう。

【心臓検診で見つかる病気】

きやく 脚ブロック

左右に分かれている心臓の部屋への信号（電気の流れ）がうまく伝わっていない状態です。右心室への信号が伝わりにくいことを右脚ブロック、左心室へ伝わりにくいことを左脚ブロックといいます。精密検査が必要です。

※1次検診の結果、2次検診対象となっても、心臓病があるというわけではありません。

きがいしゅうしやく 期外収縮

心臓を動かす電気のリズム（＝脈）の異常によって起こります。脈が飛んだように感じたり、胸の不快感や動悸、目まいなどの症状があることもあります。

へんまくしょう 弁膜症

心臓には血液の逆流を防ぐために4つの弁膜があり、この弁膜が正常に働かなくなる病気です。動悸や息切れ、疲れやすいなどの症状があります。